

# Land-landscape:

be/ behave/ become

風景:いる

第1期 終了

風景:みる

第2期 終了

風景:みえる

第3期 開始

出展者

桂川大

構成建築

山川陸

演劇

山をおりる

編集デザイン

なかむらまゆ

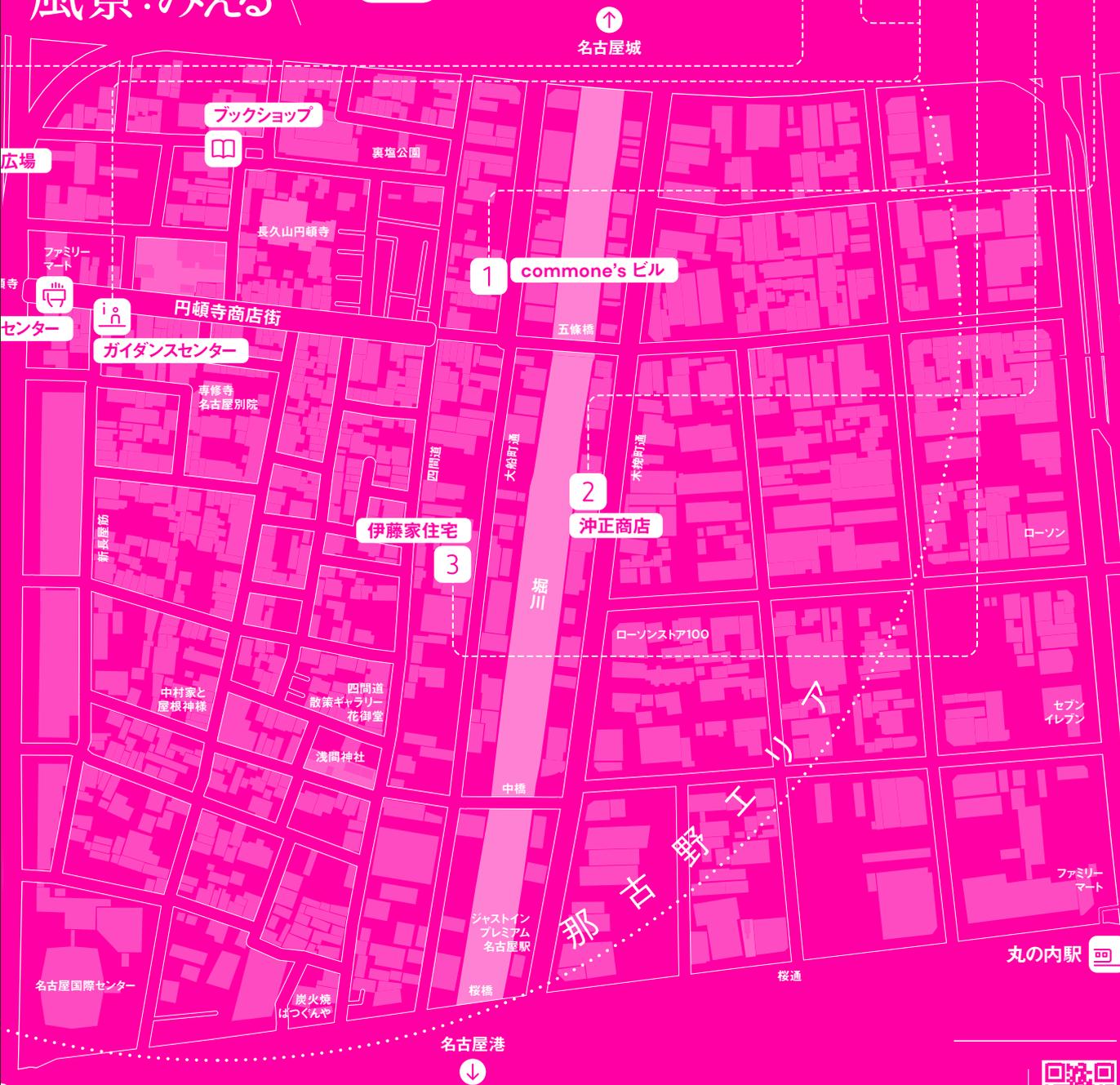
写真

豊島鉄也

彫刻

こはまふみお

映像



展覧会公式ウェブサイト [land-ing.com](http://land-ing.com)



2024年9月20日[金]—24日[火]

入場時間 10:00—18:00 (20日[金]/24日[火]は17:00まで)

名古屋市那古野エリア一帯

8会場+円頓寺商店街アーケード内

こはまふみお | 映像  
1991年大阪府出身。名古屋芸術大学卒業。情

Exhibitors | 出展者

FIG.1



Fig.1 こはま ふみお (displayed\_scope) 2023年 | 撮影:こはま ふみお



Fig.2 豊島鉄也(産業道路をって警察署の方へ曲がった先、病院へつづく曲がりくねった急な坂道) 2023年 | 撮影:こはま ふみお



Fig.3 なかむら まゆ(輪郭をなぞる) 2023年 | 撮影:こはま ふみお



Fig.4 山をおりる「風景:いる、みる、みえる」 2023年 | 撮影:網島卓也



Fig.5 山川隆「三度、参る」 2020年 | 撮影:板倉勇人



Fig.6 桂川大「風景:いる」 2023年 | 撮影:こはま ふみお

### Exhibitors | 出展者

**Fig.1** こはま ふみお | 映像  
1991年大阪府出身。名古屋芸術大学卒業。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)中退。主に風景やそれに付随するテーマをモチーフに作品制作をおこなう。場所や風景に含まれるコンテクストや記号や意味、それら風景を形作る要素に独自の解釈を取り入れ、風景を変換することを通して「見えない風景」を構築している。

**Fig.2** 豊島鉄也 | 彫刻  
1990年神奈川県生まれ。美画家。愛知県在住。日本大学大学院芸術学研究所造形芸術専攻修了。素材、形態を特定せず事物を型取る作品をはじめ、フローイング、インスタレーション、イベントなど作品を展開している。2016年より埼玉県朝霞市に共同アトリエ「54」を立ち上げ、不定期に「GROOVY54」というDJイベントを開催。

**Fig.3** なかむら まゆ | 写真  
東京都出身、愛知県在中。写真家。日本大学芸術学部写真学科、同大学院映像芸術専攻修了。“風景”“観測すること”をテーマに、写真とインスタレーションを中心に制作する。2020年よりラウンジコレクション「RAU」(都市と芸術の応答体)に参加し、映像作品も制作する。

**Fig.4** 山をおりる | 編集・デザイン  
山をおりるは、建築・都市・デザインを中心に企画・執筆・ユーザー出版物制作など編集を軸にした活動を脱領域的に展開するエディトリアル・コレクション。現在のメンバーは、春口滉平(編集者)/中塚大慶(空間デザイナー)/ユーザー(網島卓也)(エディトリアル・デザイナー)の3名。

**Fig.5** 山川隆 | 演劇  
アーティスト、Transfield Studio 共同主宰。さまざまな形式により、集団で共に考える状況の設計に取り組み。近年の活動に、土地と人の折り合いの歴史から都市にはたらきを見出す「ツアーパーフォーメンズ(Lines and Around Lines)」シリーズ(2022~、Transfield StudioとLTD)等の発表、鑑賞行為から福祉施設について考える「劇場をつくるラボ」、ラーニング・コリクティブ「RAU」(都市と技術の応答体)「プログラム・ツアー」(ツアー、相談所を運営する集まり)「SNZ」への参画など。年に何度か、名古屋駅でつむぎとせん巻を買って、東海道新幹線からJR南紀に乗り換えて帰省しています。

**Fig.6** 桂川大 | 構成・建築  
建築家、STUDIO大、おどり場 代表、第三者(鑑賞者、利用者)の体験を導くことに着眼し、私たちの外にある不確かなもの、既にそこにあるものに向き合いながらよく考慮して空間に限らないプロジェクトに参画・共同している。近年の参画に建築に限らない形式で体験の導きを捉え直す建築展「ガイダンスのアーキテクチャー」の共同キュレーション、地域産業とのつくる営みの市場価値を発注/受注から再構築する「Material Learning Farm」のデザインターなどがある。あいちトリエンナーレ2019では大学連携による協働制作の場づくりにも携わる。名古屋造形大学、愛知県立芸術大学非常勤講師。AU 建築文化事業委員会委員。

# 発見・生成しみてくること

Tickets   チケット	
	← 前売券販売ウェブサイト
	一般 学生
前売券	2,500円 2,000円
当日券	1,000円 500円

全会場共通チケットです。会期中全日程有効、再入場可能です。

### 前売券

前売券には本展覧会図録が付属します。前売券販売ウェブサイトよりご購入ください。クレジットカード決済のみです。

9月9日[月]までにご購入された場合は、展覧会当日までにご自宅へ郵送いたしますので、図録をお好きな会場までお持ちください。チケットの代わりとなります。

9月10日[火]以降にご購入された場合は図録の郵送はいたしませんので、**本展覧会チケットセンターまでお越しください。**図録をお渡します。

### 当日券

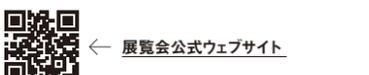
当日券は全会場にて販売しますので、お好きな会場にお越しください。ご予約は不要です。現金決済のみです。

当日券には図録は付属しませんが、図録は差額分(一般/学生共通|1,500円)のお支払いで、当日購入が可能です。本展覧会チケットセンターで販売します。

### 既に図録をお持ちの方

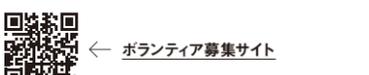
第1期「風景:いる」、第2期「風景:みる」の会期中に図録を購入された方は、本展覧会へ無料で入場可能です。図録をお好きな会場までお持ちください。チケットの代わりとなります。

### Events | イベント



ツアーガイド等、会期中はさまざまなイベントの開催を予定しています。詳細が決まり次第ご案内します。最新情報は展覧会公式ウェブサイトをご覧ください。

### Volunteer | ボランティア



会場運営ボランティアとして参加いただける方々を募集します。詳細はボランティア募集サイトをご覧ください。

おどり場は、つくる、問の仮設的な時間と空間を楽しむ運動体です。建築、彫刻、映像、写真、編集・デザインなど領域を横断した主体たちによって構成され、不確かな風景の現在を模索するための活動を展開しています。おどり場としてはじめての自主企画となる「風景:いる/みる/みえる」は、2023-2024年にかけて実施するリレー形式の鑑賞企画です。「鑑賞の場とはなにか?」をテーマに、運動体参加アーティストたちが応答を試みます。

第3期「風景:みえる」では、名古屋市那古野エリアの複数会場で、第1-2期をとおして作家たちが発見生成した成果を展示します。自身/対象の存在をどのように確認し(いる)、「鑑賞の場とはなにか?」という問いをどのように解釈するか(みる)、その不確かさを来場者とともにあらためて鑑賞します。

つねに変化しつづける「風景」の所在を探る旅へ、ぜひご同行ください。

主催  
おどり場  
円頓寺商店街振興組合

共催  
四間道・那古野界隈まちづくり協議会

後援  
名古屋市

助成

クリエイティブリンクナゴヤ

十六地域文化振興財団

協力

株式会社安藤大理石

株式会社沖正商店

株式会社プロスパー

藤工芸株式会社

制作協力

Material Learning Farm

企画・空間設計

桂川大(STUDIO 大)

エディトリアル・ディレクション

春口滉平(山をおりる)

デザイン

網島卓也(山をおりる)

事務局

梅村樹

太田奈保美

小出一葉

村瀬唯

森本芽衣

E-mail

hello.land.ing.00@gmail.com

Twitter / X

@\_land\_ing

Instagram

@\_land\_ing

Website

land-ing.com

